

## スクールカウンセラー便り

### LGBTという言葉を見たことがありますか？

セクシャル・マイノリティ(性的少数者)を表す言葉の一つとして使われることがあります。最近では、7~8%つまり約13人に一人はいる(日本では左利き・AB型と同じくらい)、などの統計からマイノリティとは言えないとして、「多様な性」という肯定的な言葉が広まりつつあります。

### 多様な性について考えてみましょう。

性別はどのように判断するのでしょうか？身体？心？好きになる相手？好み？

**性的指向** (いろいろな『好き』のかたち)とは…

どのような性別の人を好きになるか、ということです。誰も好きにならないという人もいます。これは自分の意志で選ぶ「嗜好」ではなく、多くの場合、思春期の頃に「気づく」ものです。

例えば、「私は男性を好きになる！」と自分で決めて好きになりますか？恋をするたびに、好きになる人は「男の人」が多いなあ、と様々な経験を経て、結果として気づいていくものです。

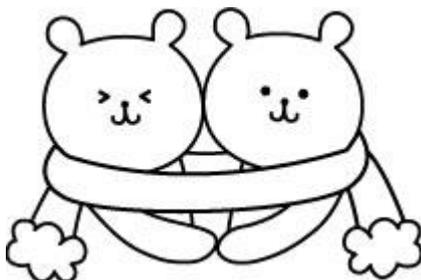
**性自認** (いろいろな『心』のかたち)とは…

自分の性をどのように認識しているか、ということです。多くの方は「身体の性」と「心の性」が一致していますが、「身体の性」と「心の性」が一致せず、自身の身体に違和感を持つ人たちもいます。

**セクシャル・マイノリティ(LGBT と呼ばれる人たち)には、同性愛者、両性愛者、男女どちらにも恋愛感情を抱かない人や、身体と心の性が一致しない人、自分自身の性を決められない、分からない人など、様々な人がいます。**

**「性」のかたちはいろいろです。どれが正しいか、どれが間違っているというものではなくて、どんなかたちも、その人らしさを表しています。顔、声、趣味、好きな色などが人によって違うように、私たちが好きになる性も、表現したい性も、人それぞれ違います。違うことが当たり前なのです。**

**「性の多様性」を理解することは、誰もが自分らしく生きていくために、とても大切なことです。**



10月の相談日：3日、10日、17日、24日、31日

※は、11:00~15:00

11月の相談日：7日、14日、21日、28日

問い合わせ先 電話：0479-25-0311

スクールカウンセラー 椎名 郁